

## 第6回「グローバル・サステイナブル・テクノロジー（GST）研究会」

### 超臨界流体技術グループミーティング顛末記

平成20年2月15日、静岡大学浜松キャンパスにおいて、工学部プロジェクト「グローバル・サステイナブル・テクノロジー研究会」第6回超臨界流体技術グループミーティングが開催されました。今回の参加者は企業の方を中心に24名と、多くの方にご参加いただきました。まず始めに、信州大学工学部の内田博久准教授より、「材料創製場としての超臨界二酸化炭素の可能性—有機ナノ粒子・有機薄膜創製への応用—」と題して、最近のナノ粒子と薄膜創製技術の研究動向について講演していただきました。次に、静岡大学工学部の岡島より、「超臨界アルコール利用技術」と題して、プラスチックリサイクルへの利用を中心に超臨界アルコールの利用技術について講演がありました。そして、清水建設(株) 隅倉光博氏により、「二段式亜臨界水中燃焼法によるバイオマス廃棄物処理」と題して、今回の見学施設でもあるバイオマス廃棄物の二段式亜臨界水中燃焼処理技術の概要について講演していただきました。

その後、静岡大学浜松キャンパス内の総合研究棟に設置してある、二段式亜臨界水中燃焼装置と超臨界流体実験装置を見学しました。

次回は8月頃に見学会・講演会を企画する予定ですので、皆様の積極的な参加とご協力をお願いいたします。

記・岡島いづみ（静岡大学）



信州大学 内田博久先生による講演。超臨界二酸化炭素中でのナノ粒子や薄膜創製に関する研究などについてお話をいただきました。

静岡大学 岡島による講演。プラスチックリサイクルを中心とした超臨界アルコール利用技術についてお話をしました。



清水建設(株)の隅倉光博氏による講演。二段式亜臨界水中燃焼法によるバイオマス廃棄物の処理について説明していただきました。

浜松キャンパス総合研究棟にて 見学の一場面。清水建設(株) 隅倉氏により、装置などの説明を受けました。

